

車体解体マニュアル

仕 様 : レントゲン車（胃・胸部検診車）

用途区分 : 医療防疫車

車体製造会社	尾張車体工業株式会社
担 当	高橋 広士
連 絡 先	TEL 052 - 412 - 1201

1. 車両を解体する際の留意点

- (1) 本車両はトラックのキャブ付シャシに鉄製骨格・鋼板でバス型ボディに架装したものです。ボディ製作における骨格及び外板部の接合は基本的に溶接構造となっていますので、切断機等の器具による解体作業となります。
- (2) 取り外した解体部品については、鉄・アルミ・ステンレス・ゴム・ガラス・木材・樹脂・配線材等、材質別に分類し、適切な処理を行なってください。
- (3) 本車両の撮影室内壁及び床面には、X線防護の為 0.5mm～2.5mm 厚の鉛板が貼り付けられています。(天井部を除く) また撮影室間仕切りのガラスにつきましても含鉛ガラスを使用しています。解体の際には、必ずそれらを分離し、おのおの適正な処理を行なってください。
- (4) メッキ処理部品及びビス・ボルト類の一部には、表面処理材に環境負荷物質が含有されています。必ずまとめて適正な処理を行なってください。
- (5) 電装部品には環境負荷物質が使用されている場合があります。必ず適正な処理を行なってください。
- (6) 本マニュアルは、レントゲン車の車体解体について記述したものです。架装ベース車のシャシ関係また車両に取付けられている架装機器につきましては、ボディより取り外した後各シャシメーカー、医療器メーカー、部品メーカー等の指示により解体・廃棄を行なってください。

主な架装機器

- | | |
|----------|-----------|
| ・レントゲン装置 | ・バッテリー充電器 |
| ・バスクーラー | ・自動扉開閉装置 |
| ・ヒーター | ・照明機器 |
| ・天井換気扇 | ・リフト |

2. 車両の解体

- (1) レントゲン装置
レントゲン装置の取り外し及び廃棄につきましては、必ずメーカーのサービスに依頼してください。
- (2) 架装機器
 - ・ 1-(6) のリストに記載のある機器を取り外してください。(主にビス・ボルト固定)
 - ・ 取り外し後の廃棄方法などにつきましては、各機器のメーカーまたは代理店にお問い合わせください。

(3) フロント廻り

本車両はメーカー標準キャブと後部ボディとを継ぎ足す構造となっているため、フロント廻りの部品の取り外し・解体等につきましてはシャシメーカーの指示により、行なってください。

(4) 内・外装部品

内・外装部品の取り外しについて、それぞれの取付け法（下記）に合った取り外しを実施してください。

〈外装部品〉

- | | |
|--|------------------------|
| ・ 胴面モール | ビス止め（芯 挟み込み） |
| ・ 天幕カバー | リベットかしめ |
| ・ 天幕（アーム部含む） | ビス止め |
| ・ バックアイカメラ | ビス止め |
| ・ リアドア | ヒンジ部にてボルト止め |
| ・ リアドア部ガラス | H型ゴム |
| ・ ドア開止め金具 | ビス止め |
| ・ リアバンパー | ボルト止め |
| ・ 昇降用ステップ | ストッパーとしてボルト使用 |
| ・ リア灯火類 | ビス止め |
| ・ サイド2枚折れドア | ヒンジ部にてボルト止め |
| ・ サイド2枚折れドアガラス | H型ゴム |
| ・ サイドアルミサッシ | 両面テープ及びトリム押え |
| ・ サイドスカートリッド | 蝶番部にてボルト止め（開止め金具 ビス止め） |
| ・ 燃料タンク | ボルト止め |
| ※ 燃料タンク内には軽油・ガソリンが残存していますので、十分注意して扱ってください。 | |
| ・ 外線コードリール | ボルト止め |
| ※ キャブタイヤコード及びコネクターにつきましては、それぞれ取り外してください。 | |
| ・ バッテリー引出金具 | 溶接 |
| ・ クーラー | ボルト止め |
| ※ 事前に冷媒配管・ドレンホースの取り外しを行なってください。 | |
| ・ ヒーター | ボルト止め |
| ※ 事前に冷却水の抜き取りを行なってください。 | |

〈内装部品〉

- | | |
|--|-------------|
| ・ 木製家具 | ビス止め |
| ・ 乗務員室カーペット | ホック止め・両面テープ |
| ・ ヒーター吹出しユニット | ビス止め |
| ※ 事前に冷却水の抜き取りを行なってください。 | |
| ・ アンクル台 | ボルト止め |
| ・ 自動扉開閉装置 | ボルト止め |
| ・ 技師席 | ビス・ボルト止め |
| ※ クッション部はベニア板にウレタンを貼り付けたモケット張りとなっており
ます。それぞれ分離してください。 | |
| ・ 照明機器 | ビス止め |

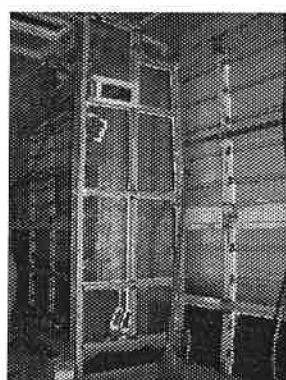
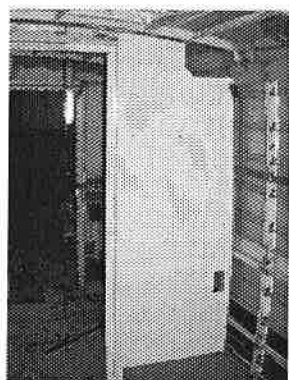
- ・ 天井換気扇 屋根部よりボルト止め
- ・ スピーカー ビス止め
- ・ リフト ボルト止め
- ※ 事前に油圧オイルの抜き取りを行ってください。
- ・ A C配電盤 ビス止め
- ※ 配電盤内にはブレーカー・スイッチ・メーター・ランプ等の電装部品が取り付けられています。、それぞれ取り外してください。
- ・ クーラーダクト ビス止め
- ※ ダクト内側部に貼付のウレタンシートは剥がして分離してください。
- ・ カーテンレール ビス止め
- ・ 床面部各種押え金具 ビス止め
- ・ 天井モール ビス止め（芯 挟み込み）
- ・ リターン及びコード孔カバー ビス止め
- ※ 各カバーに貼り付けられている鉛板は必ず分離してください。
- ・ 仕切り壁部窓ガラス 枠材ビス止め
- ※ 仕切り壁部窓ガラスにはX線防護のため鉛をふくんでいます。他のガラスとは別処理してください。

(6) 天井・側面

- ・天井・側面内鈑は骨格部にビス及び両面テープにて固定されています。天井・側面部取付けの照明機器・換気扇・スピーカー・クーラーダクト等の内装部品を取り外した後、内鈑を取り外してください。
- ・天井部取り外しの際、ビスを外した時点で内鈑は両面テープのみの接着となっており、内鈑が落下する恐れがあります。取り外しには十分注意してください。
- ・内鈑取り外し後、骨格間挿入の断熱材（グラスウール）及び配線材を取り除いてください。
- ・撮影室側面部内鈑裏に貼り付けられている鉛は必ず分離してください。

(5) 仕切り壁

- ・仕切り壁は骨組み部に鋼板製壁板をリベット打ちした構造となっており、扉はヒンジ部のボルトにより取付けられています。仕切り壁に取り付けられた内装部品及び扉を取り外した後、リベットの頭部分を取り除き、壁板を取り外してください。（扉部も同様）
- ・壁板取り外し後、骨組み間の配線材を取り除いてください。
- ・撮影室側壁板裏に貼り付けられている鉛は必ず分離してください。（扉部も同様）

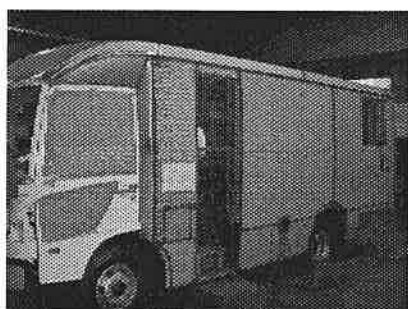


(7) 床面

- 床面部は床骨格部にベニア板をビス及び接着剤にて固定されています。ベニア上面に接着されている塩ビ材を剥がした後、ビスを外しバール等の工具を用いて取り外してください。
- ベニア板に貼り付けられている鉛は必ず分離してください。

(8) ボディ外板

- 本車両の外板はリベット及び溶接接合にて車体の骨格部に固定されています。リベット部については、鑿等の工具を用いてリベットの頭部分を取り除きます。溶接部については、サンダー等によりビード部を削り落としてください。
- 取り外した外板は、廃棄可能な状態にまで裁断してください。



(9) エンジンかさ上げ部

- エンジンかさ上げ部は、床面骨格、左右骨格、及びシャシエンジンフードに溶接接合されています。切断機等を用いて取り外してください。
- かさ上げ部内部には断熱材が挿入されており、切断機等使用の際には、火災等に十分注意してください。

(10) 車体骨格

- 本車両の骨格は天井部・左右側面部・後面部・床部の各部位によって構成されています。各部位は溶接により接合されており解体の際は、その接合部での取り外し、もしくは付近の骨格を切断することで各部位ごとに取り外し可能な状態となります。(床部骨格は除く)
- 各部位を取り外す際は、必ずクレーン等の機器を使用し、吊り上げた状態で行なってください。
- 床部骨格はシャシフレームに溶接接合されています。切断機等を用いて取り外してください。
- 取り外した骨格は、廃棄可能な状態にまで裁断してください。

